

のぼる 実 倉 新 しくら登 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

京葉道路の渋滞対策
 穴倉議員 京葉道路は、広域的な幹線道路ネットワークとして、東関東自動車道や千葉東金道路、館山自動車道と接続し、県内の各地と都心を結ぶ重要な幹線道路である。

しかし京葉道路は交通量が多く、特に幕張ICや穴川IC付近では、日常的に渋滞が発生している。

そこで何かが、京葉道路の渋滞対策の実施状況、その効果はどうか。

県土整備部長 東日本高速道路(株)では、京葉道路の渋滞対策として、これまで、東京方面の穴川IC・千葉東シンクシヨ間など、千葉市原方面の穴川・貝塚IC間で、付加車線の設置が完

京葉道路への再投資も

了し、現在、貝塚シネル付近の対策を検討しています。

この対策により、交通容量が増加したことで、東京方面の原木・武石IC間では、所要時間が平均6分短縮され、市原方面の宮野木・千葉東ジャンクション間では、平均4分短縮される効果が確認されています。

県としては、京葉道路の



2月県議会・一般質問に登壇した穴倉議員

2月県議会一般質問

県境越え連携推進を

千葉県花見川区選出の穴倉議員は、2月県議会の一般質問に登壇。新総合計画推進のため、県境を越えた連携を図るよう求め、また、京葉道路・千葉港から、新特別支援学校、学校プールなど身近な課題を取り上げて当局の考えをたじた。その概要をお伝えする。

隣接都県との連携
 穴倉議員 新たな総合計画を着実、かつ効果的に進めていくため、隣接都県等との連携に積極的に取り組むべきと思うがどうか。

知事 県ではこれまで、環境問題や災害対応など、広域的に影響が及ぶ課題について、他の都道府県と連携して位置付け、共有する課題や目的に応じ、他の都道府県と協力して、国の要望や調査研究等を行うほか、具体的な対応を検討、実施していくこととしています。

要望 様々な分野で、広域連携の推進を検討していただきたい。また、東京都の取組を調査し、積極的に意見交換することで、

携して取り組んでまいりました。

また、県民の生活圏が県境を越え、広域化しているため、感染症対策のように、隣接都県と連携、協力したより効果的な対応が必要となる新たな課題が生じることも想定されます。

このため、総合計画案では「他都道府県との広域連携」を施策横断的な視点として位置付け、共有する課題や目的に応じ、他の都道府県と協力して、国の要望や調査研究等を行うほか、具体的な対応を検討、実施していくこととしています。

要望 様々な分野で、広域連携の推進を検討していただきたい。また、東京都の取組を調査し、積極的に意見交換することで、

千葉港の活用

千葉港の利用状況
 穴倉議員 千葉港は、北は市川から南は袖ヶ浦市まで、6市にまたがる日本一広い港であり日本を代表する国際貿易港となっている。

千葉港の最近の利用状況はどうか。
 県土整備部長 千葉港では、主として県内製造業等が扱う製品と、その原材料が取り扱われており、代表品目としては、原油、石油製品、LNG及び銅材などで、令和2年の貨物取扱量は、約1億3400万トと、19年連続で全国第2位となっています。

このうち、公共ふ頭における貨物取扱量は、約1093万トであり、10年前と比べ、完成自動車は19%増加しています。

千葉港の利用促進策
 千葉港では現在、どのような取組をおこなっているのか。

県土整備部長 ハード面として、将来増加が見込まれるRORO貨物に対応するため、千葉中央地区の出洲埠頭D岸壁を改良するとともに、港湾機能の維持強化

首都圏にらみ活用

効果的・効率的に施策を実施するよう要望する。
中小企業における連携
 穴倉議員 経済活動は県域を越えて発展しているが、中小企業支援における県域を越えた広域連携について、

どう取り組んでいるのか。
 商工労働部長 首都圏の各自治体が設置している試験研究機関では、中小企業への技術支援のための連携体制を整えており、専門性の高い課題の場合には、他の自治体の研究機関も利用できるとなっています。

また、首都圏や関東近県の支援機関では、合同で広域商談会を開催するなど、

県境を越えた取引や技術提携などを促進しています。

災害時の消防の相互応援
 穴倉議員 大規模災害時に、県境を越えた消防の相互応援が円滑に実施できるように、県はどう取り組んでいるか。

防災危機管理部長 大規模災害が発生した場合に、人命救助活動応援のため、県境を越えて消防隊を派遣する

花見川の高潮対策急げ

花見川河川改修の現状
 穴倉議員 千葉市花見川区の中心を流れる印旛放水路、いわゆる花見川は、印旛沼の洪水排除を目的とした広域かつ重要な役割を担った河川となっているが、河川改修の進捗状況はどうか。

県土整備部長 花見川に橋梁の架け替え工事を実施して、柏井橋では上部工を終えて舗装工事を進める予定で、亥鼻橋では下部工を施工しております。

要望 花見川の魅力を活かして、地域の活性化に寄与するよう河川の活用に向けて、千葉市と連携を図りながら取り組んでいただきたい。また、治水面では、花見川の高潮対策事業が中断しているが、国が推進する国土強靱化の観点からも、早急に再開されるよう強く要望する。

緊急消防援助隊の制度が設けられており、本県では、消防救助救急等の目的に合計302の部隊、約12000人の人員が登録されています。

また、県に派遣する際の部隊編成や出動手続き等、応援を受ける際の手続き等を実施計画で定めるとともに、国等が実施する訓練に参加し、部隊の運用方法の習熟を図っております。

を旨とし、ガンダリークレーンの更新やコンテナヤードの拡張などに取り組みしております。

ソフト面としては、物流業界などを対象にセミナーを開催し、千葉港の魅力を広報しました。

要望 千葉港の優れたアクセス性を活かして、本県だけでなく首都圏の物産を輸出できると感じ、近隣都県を巻き込みつつ、日本とアジアをつなぐ国際物流拠点として千葉港の更なる活用を進めるよう要望する。

県立・特別支援学校

花見川に新設校

新設校の概要
 県立特別支援学校における過密状況の解消は、本県にとって大きな課題である。

このたびの令和4年度当初予算案で、旧千葉市立花見川第二中学校を活用した新設校設置に伴う基本設計等の経費が計上された。

旧花見川二中を活用した新設校の概要はどうか。
教育長 当該新設校は、小・中・高等部を置く知的障害の特別支援学校で、令和9年度までの開校を目指しており、190人程度の児童生徒の受入れを予定しております。公立中学校が

9年度までに開校

隣接しており、この中学校の生徒との交流及び共同学習も期待できると考えます。

学校施設の内容については、特別支援学校設置基準を満たすよう、令和4年度予算の基本設計において、詳細を検討してまいります。

既設2校の改善点
新設校の設置により、千葉と八千代の地区別支援学校の教育環境は、どのように改善するのか。
教育長 新設校の設置により、既存の2校では、複数のクラスや学年による普通教室の合同使用や、特別教室の普通教室への転用が解消し、ゆとりある教育環境

で学習することができるようになります。

また、両校の児童生徒数が減少することから、音楽室や体育館などの使用可能

水泳実習の委託化
県議員 最近、水泳の授業を民間に委託したり、学校や公営のプールを複数の学校が利用する事例が増加している。

その背景には、①施設の老朽化による多額の修繕費用

②施設の維持管理費などが挙げられ、更に事故防止のための負担も少なくない。

県内では、千葉市の小学校9校をはじめ、いくつかの市で委託していると聞く。

水泳授業での民間・公営プール等の活用を促進するべきと思うが、現状はどうか。また、今後、どのように取り組んでいくのか。
教育長 令和3年度の国の調査では、県内の27市町92校が民間や公営のプールを利用しています。

学校外のプールを利用するためには、委託費、移動時間の課題もありますが、学校プールの管理や経費の

軽減が図られ、屋内温水プールの場合には、計画的に授業を進められるメリットがあります。

更に、水泳指導にあたる教員負担の軽減も期待できることから、県教育委員会としては、実態を把握し、情報提供するなど市町村の取組を支援してまいります。

要望 県内や全国の優良事例を収集し、安心して合理的な施設へと

時間が増え、学習活動の充実が図れるものと考えております。

通学環境の変化
県議員 新設校の設置により、通学環境はどのようになるのか。
教育長 JRと私鉄の複数の駅から新設校付近まで路線バスが運行されており、公共交通機関を利用した登

下校によって、利便性が向上すると見込めます。

複合施設化への考え
県議員 新設校を、複合的な施設とすることについて、県の考えはどうか。
教育長 新設校の設置に当たっては、食堂棟や作業学習棟など、新たに整備する必要があることから、当該新設校の敷地面積では複合的な他の施設を併設するこ

とは難しいと考えますが、地元の方々のふれあいについては、教育活動に位置付け、障害のある児童生徒の経験の拡大や、障害理解の促進が図れると考えております。

要望 設置基準の趣旨を踏まえ、充実した施設として整備していただき、より良い教育環境となるよう取り組むことを要望する。

ボールパークへの取組
県議員 幕張海浜公園内には、千葉ロッテマリナーズの本拠地であるゾン・マリンスタージアムがあり、年間160万人以上が野球観戦に訪れている。

一方、アメリカの大リーグでは、スタジアムや周辺のボールパーク化が進み、野球観戦に限らず、総合的なエンターテイメント会場として一層楽しめるという。

国内でも、各地で動きが活発化しているが、マリンスタージアム周辺のボールパークに向けた取組状況はどうか。

都市整備局長 県立幕張海浜公園では、マリンスタージアムとその周辺について、ボールパーク化に取り組んでいます。

公園管理者の県は、千葉ロッテ及びスタジアム所有者の千葉市と活性化に向けた

基本協定を締結しており、平成31年には第1弾として、子供たちが人工芝の上で遊べるマリナー広場がオープンしました。

ロッテでは現在、第2弾以降の計画を検討しており、県は、引き続き市及びロッテと連携し、ボールパーク化を進めてまいります。

要望 マリンスタージアム周辺のボールパーク化は、幕張新都心が「職

住・学・遊」の複合機能を備えた都市として成長する上で欠かせない。積極的な推進を要望する。また幕張のまちづくりは、JR京葉線の「新駅幕張豊砂駅」が令和5年に設置されることで、新たな段階に入る。幕張新都心は、横浜や東京湾

岸地域と競争できる千葉県の最重要拠点の業務核都市である。

企業が所有する土地をどう効果的に活用していくのか、今後のまちづくりを進める上で重要となるので、長期的な視点に立ち、大胆に考えていただきたい。

長期視点で幕張していく



自席から再質問する県議員

家庭の太陽光発電

太陽光発電設備の普及
県議員 地球の温暖化防止のため、家庭の温室効果ガス削減を進め、また災害時におけるエネルギー供給が可能となる太陽光発電設備の普及に力を入れる必要があるのではないかと、

住宅における太陽光発電設備の普及に向けて、どのように取り組んでいくのか。
環境生活部長 県では、平成23年度から、住宅用太陽光発電設備の設置に補助しており、令和2年度までの累計件数は約27,000件に上ります。

普及に努めよ

とは難しいと考えますが、地元の方々のふれあいについては、教育活動に位置付け、障害のある児童生徒の経験の拡大や、障害理解の促進が図れると考えております。

要望 設置基準の趣旨を踏まえ、充実した施設として整備していただき、より良い教育環境となるよう取り組むことを要望する。

来年度は、購入価格の低減を図るため、新たに、一括して発注する事業を開始したいと考えています。

実績により、従来からの補助を上回る価格低減が見込まれることから、市町村等とも連携して、多くの参加を促し、住宅における太陽光発電設備の一層の普及に取り組みます。

要望 家庭における太陽光発電設備の普及率の向上が、脱炭素の切り札になっていくと思う。今後とも、普及推進に努めるよう要望する。

●県政や市政についてあなたの声を聞かせてください!

ししくら登事務所
 〒262-0032 TEL043-271-0606
 千葉市花見川区幕張町3-892 FAX043-271-0605